

令和 2 年度

社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会

事 業 報 告 書

令和2年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会

事業報告

I. 法人の運営ならびに連絡調整

円滑な会務運営ならびに事業執行を図るため、次のとおり、理事会・監事会・評議員会を開催した。

1. 理事会・監事会・評議員会等の開催

※ 財 源 : 社協単独

(1) 監事会の開催

第 1 回 日 時 令和2年 6月 5日 (金) 9時00分 ~ 16時00分
場 所 嬉野市社会福祉協議会 本所
出席者 監事 2名 出席
議 題 ① 令和元年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 事業報告書 (案) 及び 決算書 (案) について
以上の 監査 を受ける

(2) 理事会の開催

第 1 回 日 時 令和2年 6月12日 (金) 10時00分 ~ 11時11分
場 所 塩田老人福祉センター 大娯楽室
出席者 理事 9名中 8名出席 及び 監事 1名 出席 1名欠員
議 題 ① 令和元年度 (平成31年度) 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 事業報告書 (案) について
② 令和元年度 (平成31年度) 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 決算書 (案) について
③ 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 会長及び常務理事の業務執行 状況報告について
④ 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 評議員会の開催について
⑤ 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 経理規程の一部変更について
⑥ 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 第三者委員の選考について
以上 6件 について

第 2 回 日 時 令和2年10月15日 (木) 10時03分 ~ 11時07分
場 所 嬉野市中央公民館 第2研修室
出席者 理事 9名中 9名出席 及び 監事 2名 出席
議 題 ① 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 評議員候補者の推薦について
② 令和2年度 嬉野市社会福祉大会の開催について
③ 嬉野市嬉野老人福祉センターの指定管理者の指定申請について
④ 歳末たすけあい配分事業のあり方について
以上 4件 について

第 3 回 日 時 令和2年12月15日 (火) 10時02分 ~ 11時17分
場 所 嬉野市中央公民館 視聴覚室
出席者 理事9名中 9名出席 及び 監事2名出席
議 題 ① 令和2年度 歳末見舞金配分 (案) について
② 歳末たすけあい配分事業のあり方について
以上 2件 について

- 第 4 回 日 時 令和3年 3月26日 (金) 10時00分 ~ 11時20分
場 所 嬉野市中央公民館 視聴覚室
出席者 理事 9名中 9名出席 監事 2名出席
議 題 ① 令和2年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 資金収支補正予算
(案) について
② 令和3年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 事業計画 (案) に
ついて
③ 令和3年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 資金収支予算 (案)
について
④ 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 会長及び常務理事の業務執行状
況報告について
- 以上 4件 について

(3) 評議員会の開催

- 第 1 回 日 時 令和2年 6月29日 (月) 10時00分 ~ 11時20分
場 所 嬉野市中央公民館 視聴覚室
出席者 評議員 13名中 9名出席 監事 1名 出席 会長・副会長 出席
議 題 ① 令和元年度 (平成31年度) 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会
事業報告について
② 令和元年度 (平成31年度) 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会
決算書 (案) について
③ 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 理事の選任について
- 以上 3件について

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

- 第 1 回 日 時 令和2年10月15日 (木) 13時25分 ~ 13時45分
場 所 嬉野市中央公民館 第2研修室
出席者 評議員選任・解任委員 5名中 5名出席
議 題 ① 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 評議員の選任について
- 以上 1件について

2. 役職員の研修状況

役職員の資質向上を図るために、研修の実施及び各種研修へ参加

(1) 役員研修

- ① 理事・監事・評議員セミナー

(2) 職員研修

- ① 都市社協事務局長及び職員研修
② 県職連会議及び研修会
③ 職員パワーアップゼミフォローアップ研修
④ 社協が進める福祉教育実践研究会
⑤ 全国福祉教育推進員フォローアップセミナー (Web)
⑥ エリア別地域福祉担当者連絡会議 (Web)
⑦ 福祉サービス苦情解決研修会
⑧ 県介護支援専門員協議会 杵藤支部研修会
⑨ 権利擁護研修会
⑩ 県生活支援コーディネーターフォローアップ研修
⑪ 移動サービス報告会 (Web)
⑫ 行政とボランティア連携・協働研修会
⑬ 子ども若者育成支援県民大会

⑭ 災害ボランティアセンター研修会

3. 社協会費の状況

地域福祉向上のために、地域住民の参加を願い大切な財源を市民にお願いした。

一般会費 400円

重点募集期間 令和2年 6月～8月

社協会費総額 2,806,400円

内訳 一般会費 2,688,400円

賛助会費 39,000円 (1,000円×39口)

団体会費 79,000円 (3,000円×26口)

4. 広報活動

※財源：社協単独

(1) 社協だよりの発行

全世帯に配布 1回あたり 8,500部 配布

令和2年 5月、8月、10月、令和3年 2月 計 4回 発行

(2) ホームページ開設

最新の事業や福祉サービス等の情報発信

5. 災害見舞金交付事業

※財源：社協単独・日赤配分・共同募金配分金

市内で火災等により被害(全焼)を受けた世帯に対し、見舞金等を交付

令和2年度 1件

6. 福祉バス運行事業

※財源：市補助金・社協単独・燃料利用者負担

福祉団体・社会教育団体等が、大会、研修会あるいは奉仕活動等に参加するときに運行

○ 運行総回数 68回

○ 運行総距離 3,214km

○ 利用者延数 751名

II. 地域福祉活動事業

1. ふれあいのまちづくり事業

※財源：社協単独

(1) 地区福祉活動の支援

地域住民の参加により地域に即した事業を展開し、事業を通して住民相互の助け合いや交流の輪を広げ、共に支えあう地域社会づくりができた。

○ 実施地区数 54地区 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため16地区中止

内訳 ① 世代間交流事業(スポーツ交流・伝承活動等) 20地区

② 環境美化活動事業(区内清掃・草払い等) 30地区

③ 世代間交流・環境美化活動事業 4地区

(2) 総合相談事業

次の相談を展開した。

① 法律相談：(予約制)

開催日 毎月 第4木曜日

(塩田地区：偶数月、嬉野地区：奇数月)

場所 塩田地区：塩田老人福祉センター、嬉野地区：嬉野老人福祉センター

相談員 佐賀県弁護士会会員

相談件数 54件

② こころの相談（予約制）

開催日 毎月 第 4 月曜日
場 所 塩田老人福祉センター、塩田中学校相談室
相談員 嬉野温泉病院 精神科医師
相談件数 36 件

③ 介護相談

開催日 随 時
場 所 塩田老人福祉センター、嬉野老人福祉センター
相談員 社協職員
相談件数 4 件

④ 遺言相続相談

開催日 年 4 回（塩田地区 2回、嬉野地区 2回）
場 所 塩田地区：塩田老人福祉センター、嬉野地区：嬉野老人福祉センター
相談員 行政書士
相談件数 7 件

⑤ 一般相談（電話相談含む）

開催日 随 時
場 所 嬉野市社会福祉協議会（本所・支所）
相談員 社協職員

(3) 民生委員・児童委員との連絡・連携

定例会への参加（塩田地区・嬉野地区）

(4) ふれあいサロン事業

地域あるいは近隣を拠点に小地域の住民が地域福祉の充実を図るため、ふれあいの場を設け、高齢者が楽しい時間を過ごし、仲間づくり・生きがいくくり・健康づくりができた。

○ 年間 1か所あたり 12,000円の助成 73カ所で実施

2. 住まいるサポート（住民参加型生活支援事業）

※ 財 源 : 社協単独

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等が抱える生活でのちょっとした困りごとを、チケット制を取り入れ、地域住民（協力員）が支援するしくみづくりと住民相互の助け合い活動の推進ができた。

- ① 相談件数 15件（実人数）
- ② 登録人数 利用会員 12名（内、新規8名）
協力会員 11名（内、新規5名）
- ③ チケット利用 383枚
- ④ 延べ活動回数 127回
- ⑤ 活動内容 室内掃除・買い物代行・布団干し・ゴミ捨て

3. ボランティアセンター事業

(1) 相談・登録・斡旋

(2) ボランティアグループへの支援とボランティア活動の推進

- ① ボランティアグループの自主活動支援
- ② 学校ボランティアの育成
 - ・市内の各小学校・中学校・高等学校に対し、ボランティア情報の提供
 - ・学校ボランティア担当者会 中止
 - ・大掃除ボランティア 中止

(3) ボランティアに関する連絡・調整

(4) その他

- ① 24時間テレビチャリティー募金 中止
- ② ボランティア活動状況パネル展

Ⅲ. 施設運営受託事業(指定管理者制度)

1. 嬉野市嬉野老人福祉センター管理経営 ※ 財 源 : 市受託金、利用料、社協単独
嬉野市内に居住する60歳以上の高齢者を対象に、健康の増進、教養の向上およびレクリエーションのための便宜など総合的に事業を行った。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、十分な対策と一部利用を制限しながら、令和2年6月8日から開館。

- 開館日日数 206日
- 延利用者数 8,230名

Ⅳ. 受託事業

1. 嬉野市放課後児童健全育成事業 ※ 財 源 : 市委託金・利用料・社協単独
放課後児童クラブは、児童福祉法第6条の2第2項の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に通う児童に対し、放課後及び長期休業期間、土曜日等学校休業日に家庭的な役割をもった生活の場を提供し、適切な遊びや生活指導を行った。

※ 緊急事態宣言を受け学校が休校となった期間は、学校と連携し時間を早めて開所

- 保護者の仕事と子育ての両立支援
- 児童の健全育成対策

開設日 令和2年4月1日～令和3年3月31日

設置場所 市内15か所

内 訳 ・五町田小学校(3か所) ・嬉野小学校(4か所)
・久間小学校(2か所) ・轟小学校
・塩田小学校 ・吉田小学校(2か所)
・大草野小学校 ・大野原小学校

利用者延べ数 83,208人

支援員等人数 39名(令和3年3月末現在)

2. 生活困窮者自立相談支援事業 ※ 財 源 : 市受託金、社協単独
生活保護に陥る前の生活困窮者に対して、本人の自立を促し本人の状況に応じた包括的継続的な支援を実施し、就労その他の支援体制を整備して関係機関との連携を図り、社会資源の開発等を実施

- 契約件数 49件
- 延べ相談件数 489件

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況を踏まえ、休業等に伴う収入減少により、住居を失うおそれが生じている方々に対し、一定期間家賃相当額を支給する「住居確保給付金」の相談・申請受付・面接等を行った。

- 申請件数 24件

3. 高齢者生きがいデイサービス事業 ※ 財 源 : 市受託金、利用料
市内に居住する概ね65歳以上の高齢者で介護保険の認定を受けていない者を対象に実施。高齢者の抱える不安等を外出の機会や同世代との交流を通し解消するとともに昼食や買い物支援を行い、健康相談や体操、レクリエーション等により心身の機能低下及

び認知症予防に努めた。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、十分な対策と一部利用を制限しながら、令和2年6月15日から開始

- 開催日数 191日
- 延利用者数 1,477名

4. ふれあい介護予防事業 ※ 財 源 : 市受託金

地域ふれあいサロンリーダー・一般高齢者を対象に実施
市内 3か所 (塩田地区・嬉野地区・吉田地区で各地区: 1回開催)
○ 参加者は、延べ 111名

5. 家族介護者交流事業 ※ 財 源 : 市受託金

介護者への情報提供や介護保険サービスの紹介を行なうとともに、介護者のリフレッシュを目的に介護者同士の交流やレクリエーションを実施
開催日 ① 令和2年10月30日 参加者 8名
② 令和3年 3月16日 参加者 8名

6. 嬉野市生活支援体制整備事業 ※ 財 源 : 市受託金、社協単独

日常生活上の支援が必要な高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる「生活支援・介護予防サービス」の提供体制を構築するため、地域のニーズ及びサービスの聞き取りを実施。また、サービス・支援の担い手となるボランティア等を養成し、各関係機関と連携して支援体制の強化・充実を図った。

7. 福祉サービス利用援助事業(日常生活支援事業) ※ 財 源 : 県社協受託金、利用料、社協単独

認知症高齢者、精神障害者、知的障害者等判断能力が不十分な者や、日常生活を営むのに支障がある者に対し、地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言及び手続の援助、利用料の支払等、福祉サービスの適切な利用のための一連の援助を一体的に行った。

10名に対し、月1回あるいは、週1回程度の生活費、医療費等の支払について、生活支援員による援助を実施

- 生活支援員 5名 (嬉野町 4名、塩田町 1名)

8. 生活福祉資金貸付事業 ※ 財 源 : 県社協受託金、社協単独

佐賀県社会福祉協議会の貸付事業で低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯などに必要な資金の貸付と相談援助を行い、世帯の経済的自立と生活意欲の助長並びに在宅福祉と社会参加の促進を図り、安定した生活を送られるよう支援するもので、民生委員と協力し、借入の紹介や償還に関する事務の実施

- 本年度貸付件数 なし

※ 特例貸付事業 (特例措置)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入が減少し、緊急かつ一時的に生活維持が困難となった世帯へ貸付の相談及び支援を実施 (無利子・保証人不要)

- 緊急小口資金 申請件数 186件
- 総合支援資金 申請件数 98件
- 総合支援資金 (延長) 申請件数 38件
- 総合支援資金 (再貸付) 申請件数 19件

V. 共同募金配分金事業

※ 財 源 : 赤い羽根共同募金配分金・参加費・社協単独

1. 一般配分金事業

令和元年度に実施した『赤い羽根募金』の配分金で、次の事業を実施

(1) 各種団体育成事業

市内の各種福祉団体への助成、なお、会員数を考慮し助成する。

助成額	1団体	会員数	50名以下	30,000円
			51名～100名	50,000円
			101名～300名	70,000円
			301名以上	100,000円

○ 助成した団体名	嬉野市老人クラブ連合会	2,826名	100,000円
	嬉野市母子寡婦福祉会	31名	30,000円
	嬉野市身体障害者福祉協会	111名	70,000円
	嬉野市手をつなぐ育成会	76名	50,000円
	嬉野市遺族会	575名	100,000円
	嬉野市保護司会	17名	30,000円
	嬉野市民生委員児童委員協議会	74名	50,000円

(2) 福祉の出前講座の開催

学校や地区の老人会、サロン等から依頼を受け、各種講座の開催及びコーディネートを行うことにより市民の福祉に関する理解を深め意識を高めた。

① 福祉学習（高齢者疑似体験・社協の事業について）

令和2年12月18日	吉田小学校	3年生	13名
令和3年1月29日	嬉野小学校	4年生	66名
令和3年2月19日	轟小学校	4年生	26名
令和3年3月10日	嬉野高校福祉系列	2、3年生	22名

② 介護予防・健康講話等（認知症予防・転倒予防等）

令和2年11月9日	塩田 常磐会サロン
-----------	-----------

(3) 第10回嬉野市社会福祉大会 中止

(4) ケアトランポリン健康教室

高齢者の介護予防や健康増進のため、安全面に配慮したケアトランポリンを活用し実施。

実施回数	Aコース	28回	・ Bコース	28回	※体力測定2回実施
登録者数	Aコース	33名	・ Bコース	32名	
延べ参加者数	Aコース	692名	・ Bコース	553名	

(5) 知的障がい児・者と保護者の交流事業（ふれあいの集い） 中止

(6) ボランティア協力校への助成

市内の小学校・中学校・高校・特別支援学校に対し、助成

助成額	小・中・高・特別支援学校	1校あたり	50,000円	市内13校
-----	--------------	-------	---------	-------

(7) 嬉野市ボランティア連絡協議会への運営支援及び助成

助成額	50,000円
-----	---------

(8) ボランティアスクールの開催 中止

(9) 子どもクラブボランティア育成事業

子どもクラブによる地域でのボランティア活動を推進し、活動報告を受け情報誌等で活動紹介を行った。

嬉野市内 20地区 342名

2. 歳末たすけあい配分金事業

令和2年度に実施した『歳末たすけあい募金』の配分金で、次の事業を実施

(1) 歳末見舞金交付事業

市内の生活困窮世帯（調査は、地区民生委員・福祉協力員）に対し、「みんなで明るいお正月」を迎えてもらうために、見舞金を交付

11世帯 380,000円

(2) 障害者グループホーム支援事業

市内のグループホーム（6か所）

(3) ひとり親世帯中学生卒業祝金交付事業

ひとり親世帯の生徒が『中学校』を卒業する際に、卒業祝いとして「図書カード」を交付

34名に対し、一人あたり 5,000円相当額の図書カードを交付

(4) 児童遊園地の点検事業

市内の児童遊園地を各地区で点検し、不良箇所等の確認・報告

17地区（塩田 14地区、嬉野 3地区）で実施

VI. 介護保険事業

1. 要介護認定等調査

杵藤地区広域市町村圏組合からの委託業務。介護保険の更新申請をされた方の訪問調査を実施（この結果をもとに認定審査が行われる）

訪問調査件数 43件

2. 居宅介護支援事業

介護支援専門員（ケアマネージャー）が、要介護認定（要介護1～5）を受けた方の介護サービス計画（ケアプラン）の作成、サービス事業者との連絡調整等を行った。利用者の心身の状況や生活環境を踏まえ、本人・家族等からの相談を基に計画を作成し、毎月のモニタリングにより状況を把握し、必要に応じサービスの調整を行った。

延件数 842件

3. 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

地域包括支援センターより委託を受け、要支援1・要支援2・総合事業対象者のケアプランを作成し、サービス事業者との連絡調整を行った。

延件数 2件

VII. 福祉資金貸付事業

※財源：市受託金

1. 市福祉資金貸付事業

一般の融資機関その他から資金の融資を受けることが困難である低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯などに、民生委員と協力し、必要な資金の貸付と相談援助を行い、世帯の経済的自立と生活意欲助長並びに在宅福祉と社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援

本年度 貸付件数	2 件
貸付金額	80,000 円

VIII. その他の事業

1. 福祉用具貸出

市民に対し、『車イス』・『歩行器』等を一時的に貸し出した。

○ 車イス 31件 ○ 歩行器 0件

2. 福祉教育教材貸出

○ 疑似体験道具 4件

3. レクリエーション用具貸出

市民に対し、地域でのイベントや研修会等に備品を貸し出す。

○ レクリエーション用具 2件 ○ その他備品 2件

IX. 共同募金運動事業と赤十字事業への協力

1. 共同募金運動事業

(1) 赤い羽根募金

たすけあい運動の啓発と自己財源の確保を図るため、共同募金運動を展開し、次のとおり実績を得た。

世帯あたり目安額	400円
運動期間	令和2年10月1日～12月31日
募金実績額	3,992,502円

・募金実績の内訳

○ 戸別募金	2,625,600円	(6,564世帯)
○ 法人募金	581,000円	(87件)
○ 資材募金	725,100円	(64件)
○ 学校募金	27,979円	(5件)
○ 職域募金	14,601円	(1件)
○ 個人・団体募金	16,867円	(4件)
○ その他	1,365円	(2件)

(2) 歳末たすけあい募金

市内の要援護対象者に「明るいお正月」を迎えてもらうために、募金運動を展開し、対象者に交付。実績は次のとおり

世帯あたり目安額	200円
運動期間	令和2年12月1日～12月31日
募金実績額	1,461,780円

・募金実績の内訳

○ 戸別募金	1,322,900円	(6,615世帯)
○ 職域募金	89,523円	(29件)
○ 学校募金	26,357円	(5件)
○ 個人募金	1,000円	(1件)
○ その他	22,000円	(2件)

2. 赤十字事業

(1) 日赤会員募集

災害救助をはじめ、血液事業および医療事業など各種事業の拡充強化を図り、赤十字組織を活用して県民・市民各位の役に立つ事業を実施するための財源を確保するため、会員募集を展開した。実績は次のとおり

世帯あたり会費額	500円
募集強化月間	令和2年 5月 1日 ~ 5月31日
募集目標額	4,305,000円
募集実績額	3,277,500円

・実績内訳

○ 普通会費	3,256,500円	(6,513世帯)
○ 特別会費	21,000円	(2名)

(2) 各種講習会への参加

- ① 赤十字デー講習会 中止
- ② 九州八県赤十字大会 中止